



*You Are Here*

Yamaha Design Laboratory



## Wake me up

サクスを吊りながら支えるスタンドです。傾けると、演奏のための椅子になります。

サクスは美しい金属の曲面と直線によって、機能的かつ美しく構成された楽器です。

この家具はその佇まいだけでなく、奏者が構えて演奏するという所作までも美しく見せることができます。

サクスと奏者は同じ座面に腰掛けることで、お互いの距離をより縮めることができます。

Designer : Masafumi Futo

## You Are Here

Yamaha Design Laboratory



## Lean on me

コントラバスを立てかけるスタンドです。演奏のための椅子にもなります。

コントラバスはとても大きな楽器で、床に置かれていると大きな生き物が休んでいるような印象があります。

そんなコントラバスが肘をついてくつろいでいるような場所を作る家具です。

コントラバスを演奏する際に、足を載せることのできる椅子にもなります。

Designer : Toshihide Suzuki

## You Are Here

Yamaha Design Laboratory



## Meow

バイオリンと弓を収めることのできる、楽器を愛でるための収納庫です。

バイオリンの背中には虎空のあるものがあります。

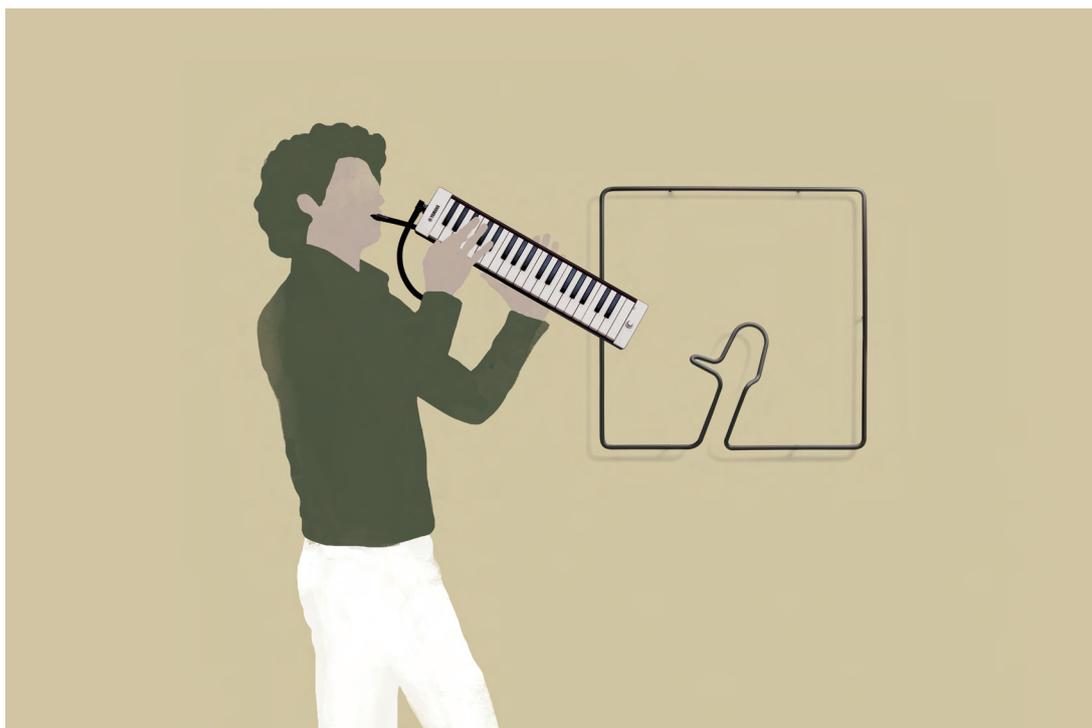
また楽器の大きさはかわいらしく、近くにあると、弾いてほしい、かまってほしいと呼びかけてくるような印象もあります。そういったバイオリンの主張を具現化した猫型ストレージです。

弓は収納すると猫のしっぽのようになります。

Designer : Toshihide Suzuki

You Are Here

Yamaha Design Laboratory



## Hand me higher

ピアノカを壁に掛けるスタンドです。掛けたまま演奏もできます。

ピアノカは鍵盤楽器の中で、特に小さく、軽く、どこでも気楽に演奏できます。

この自由さを表現した、奏者に構えられた姿で空中に浮かべることのできるフレームです。

壁面に描かれた一筆書きのような手がピアノカを台地の呪縛から解き放ちます。

Designer : Stefano Ivan Scarascia

## You Are Here

Yamaha Design Laboratory



## Dress me up

ドラムセット（スネアドラム、シンバル、ペダル、スツール）に着せるカバーです。そのまま演奏もできます。

ドラムセットの冷たく硬質な金属部分は生活空間においてとても異質です。

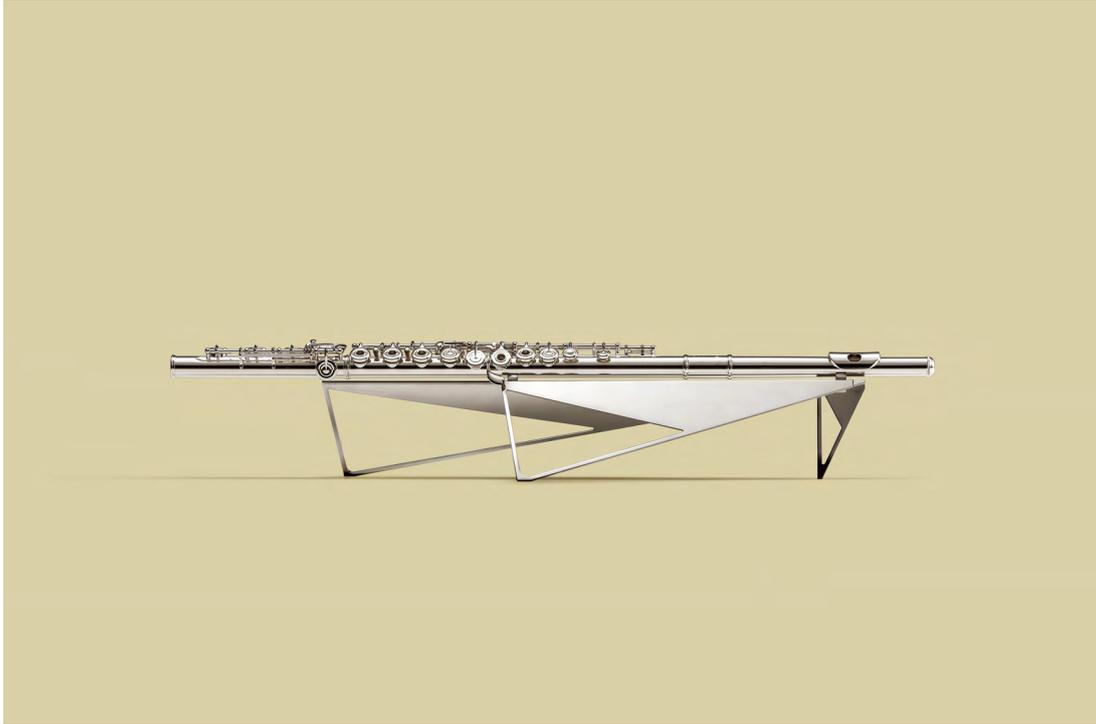
そんなドラムを部屋に馴染む暖かい存在にってしまう、服のようなカバーです。

太鼓達が集合して一つの楽器としてまとまるというおもしろい特徴が、生き物達が集まっておしゃべりしているかのように見えてきます。

Designer : Sena Otsuka

## You Are Here

Yamaha Design Laboratory



## Leave it to me

フルートが浮かぶ様に置かれるスタンドです。

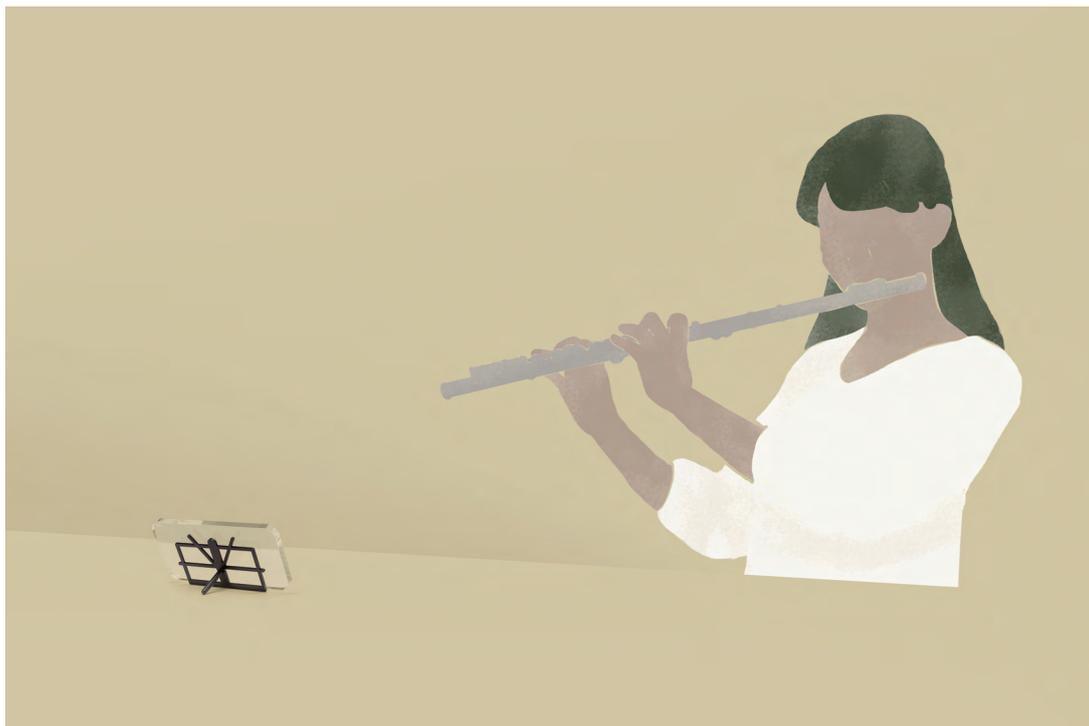
フルートはまっすぐ、水平に伸びゆく姿が美しい楽器です。奏者と一体になった演奏では特にそう感じられます。その特有の佇まいを、小さな奏者がフルートを構えるかのように、2本の細いアームで楽器が浮遊するように支えるスタンドです。

演奏されている間だけでなく置かれている間も常にフルート特有の美しさを楽しむことができます。

Designer : Toshihide Suzuki

## You Are Here

Yamaha Design Laboratory



## Look at me

現代の楽譜事情に合わせた譜面立てです。

楽譜立てというのはどういう訳か、おおよそ特徴的なシルエットは2種類しかありません。

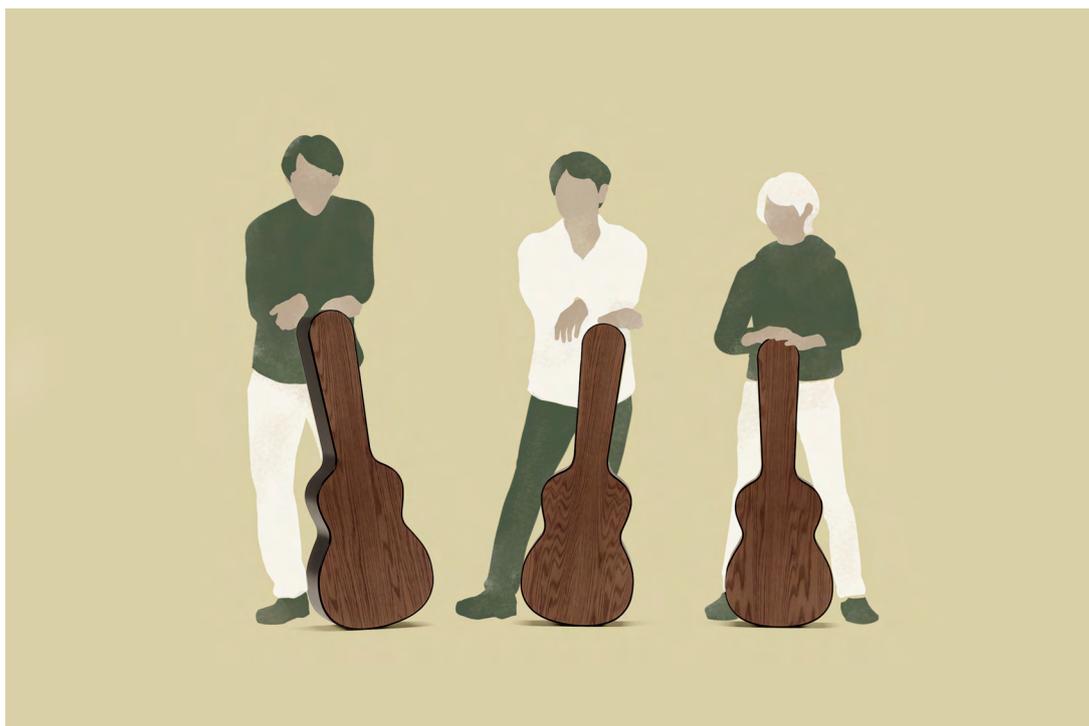
これはなんとなく頭の片隅にある楽譜立ての記憶にピンと来るシルエットの、小さな譜面立てです。スマートフォンに表示させた楽譜を見るときに使います。

ただ小さいだけで「カワイイ」と感じるニッポン女子特有の感覚は人類共通なのか、イタリアの皆さんの感覚を聞かせてほしいです。

Designer : Akie Hinokio

## You Are Here

Yamaha Design Laboratory



## Swing with me

寄りかかって、ゆらゆらと身体を動かすことのできる、人間のためのスタンドです。

みんなで演奏をした帰り道、ギターケースはたわいない立ち話をしている間の体の支えになります。

そんな状況から思いついた、たわいない会話を促進させる道具です。

話に合わせて揺れたり身を乗り出したりできます。

Designer : Toshihide Suzuki

## You Are Here

Yamaha Design Laboratory



## Rock me on

またがって体を揺らすことで、音が鳴り響く木馬型楽器です。

遊びながら、旅しているような気分にも、奏でているような気分にもなれる作品です。

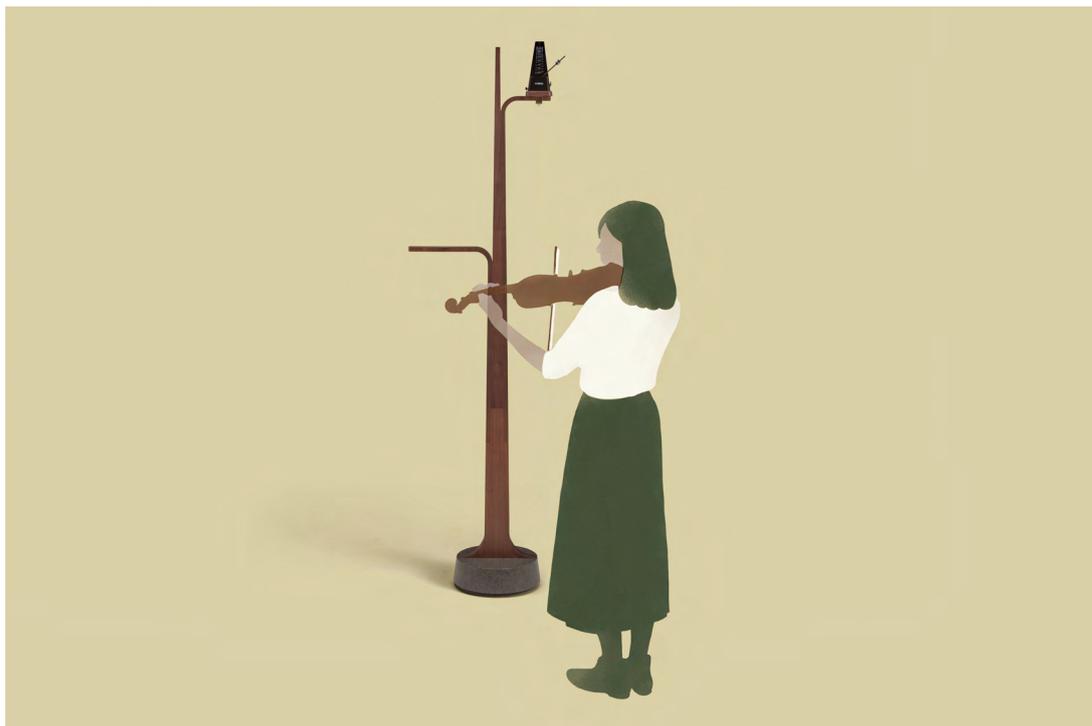
調律された4つのベルでエンジンができている木馬型バイクを、生まれた息子のためにデザインしました。

デザイナーは、この木馬のバイクが幼い子供達にとって初めての「楽器とバイク、2つのヤマハ」との出会いになることを願っています。

Designer : Akie Hinokio

You Are Here

Yamaha Design Laboratory



## Tell me

メトロノームのための背の高いスタンドです。

普段黒子に徹するメトロノームには特別な置き場所がありません。

これは、それを高い位置に置き、指揮者のような存在に見立てることで、奏者と道具の関係をより近いものにします。

いくつかのメトロームを組み合わせ、創造的な練習時間を過ごすこともできます。

Designer : Koji Notomi

## You Are Here

Yamaha Design Laboratory



## Forget me not

交換した後のギター弦を飾ることのできる道具です。

使い古してギターから外された弦は、調弦によってねじれたり折れ曲がったりしています。

これは、それらを束ねて花に見立てて飾ることのできる花瓶のようなものです。

生けられた弦のもつ雰囲気は、もはやただの金属ではなく、有機的で元は楽器の一部であった佇まいを持ち始めています。

Designer : Yuri Kasao

## You Are Here

Yamaha Design Laboratory

# You Are Here

ヤマハ株式会社は多種多様な楽器・音響機器を製造販売している日本企業です。

事業を通じて、世界中の人々のこころ豊かなくらしの実現を目指しています。

音楽は、生きていく上での必需品ではないかもしれませんが、生活に潤いや彩りを与え、人間が人間らしくこころ豊かに暮らしていくために、なくてはならないものだと思います。

楽器は、ときには自分の身体の延長のようであり、ときには愛しいパートナーのような存在です。その佇まいは、何かの物体が『ここにある』というよりも、友人やペットのように『ここにいる』という特別な親密さを纏っていると、私たちヤマハデザイン研究所は考えています。今回はそんな考察から、日常生活における楽器の居場所、さりげなく演奏が始められる仕掛け、自然な会話に動きを与える道具、音が出る室内遊具など、『楽器と共に暮らすことが楽しくなる家具のようなもの』をデザインしました。タイトルの“You Are Here”は『ここにいる』という価値を象徴しています。

不確実性が高く変化の激しい時代ではありますが、だからこそ大切な存在をリアルに感じられることは、より一層重要になっていると私たちは考えます。“You Are Here”は『あなたがここにいる』価値を再確認する時代の声であり、同時に『ここで皆様をお迎えできた』私たちの喜びの言葉でもあります。

ヤマハ株式会社

デザイン研究所所長 川田 学